

## 第4章 試験検査

試験検査業務は、行政検査と依頼検査に大別される。

行政検査としては、健康危機管理に伴う検査、食品保健に係る検査、水質検査、臨床検査などを行った。

依頼検査としては、食品検査、水質検査、糞便検査などを行った。

### 第1節 行政検査

#### 1 健康危機管理

(感染症、食中毒等関連検査)

感染症や食中毒など健康危機の発生に対し、保健所は、迅速に原因を究明し、健康被害の拡大を防止するための初動検査を実施している。

健康被害の発生に伴い、検便や食品等検体について関係項目の検査を実施した(表1)。

このうち健康被害の原因と判明した病原微生物について、血清型、毒素型を示す(表2)。

表2 健康被害の原因と判明した病原微生物

平成27年度

発生日	検体	原因病原微生物
H27.4	食品	Kudoa
6	便	腸管出血性大腸菌 026:H11 (VT1)
7	便	腸管出血性大腸菌 026:H11 (VT1)
8	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7 (VT1、2)
9	便	腸管出血性大腸菌 0157:H7 (VT1、2)
10	便	赤痢菌 <i>S. sonnei</i>
11	便	腸管出血性大腸菌 091:H9 (VT2)
11	便	ノロウイルス GII
12	便	ノロウイルス GII
H28.1	便	腸管出血性大腸菌 103:H2 (VT1)
3	便	ノロウイルス GII
3	便	ノロウイルス GII

表1 健康被害発生に伴う検査

平成27年度 (単位:件)

検体の種類		便・吐物	食品	ふきとり	計
検体数		136	19	18	173
検査項目	腸管出血性大腸菌	124	—	—	124
	病原性大腸菌	60	19	18	52
	大腸菌群	—	19	18	37
	サルモネラ属菌	60	19	18	97
	腸炎ビブリオ	48	15	11	74
	黄色ブドウ球菌	60	19	18	97
	カンピロバクター	36	17	7	60
	セレウス菌	8	2	5	15
	ウェルシュ菌	6	—	—	6
	赤痢菌	7	—	—	7
ノロウイルス	65	—	—	65	

ノロウイルスは保健環境センターで実施

## 2 食品保健

### (1) 食品衛生一斉監視指導等

食品製造事業者等に対し、春・夏・秋期及び年末の食品衛生一斉監視指導に伴う収去食品について、細菌検査を実施した(表3)。

表3 食品衛生一斉監視指導等による収去検査

平成27年度(単位:件)

区 分	食 品			合 計	
	成分規格	県指導基準	その他		
検 体 数	56	90	2	148	
検 査 項 目	細菌数(生菌数)	27	89	2	118
	大腸菌群(定性)	19	48	2	69
	大腸菌(定性)	17	42	—	60 (7)
	大腸菌(定量)	3	—	—	3
	腸管出血性大腸菌	—	—	—	—
	サルモネラ属菌	3	77	—	80
	黄色ブドウ球菌	3	77	—	80
	カンピロバクター	—	—	—	—
	腸炎ビブリオ(定性)	3	1	—	4
	腸炎ビブリオ(定量)	12	—	—	12
恒温試験及び細菌試験	5	—	—	5	

### (2) 食鳥処理場一斉点検

管内の食鳥処理場1施設について、食鳥処理の工程ごとの拭取り等14検体について細菌検査を実施した(表4)。

表4 食鳥処理場一斉点検

平成27年度(単位:件)

区 分	拭取り	冷却水	合計	
検 体 数	13(8)	1	14(8)	
検 査 項 目	生菌数	13	1	14
	大腸菌群数	13	1	14
	サルモネラ	13	1	14
	カンピロバクター	13(2)	1	14(2)
	黄色ブドウ球菌数	13(6)	1	14(6)

( )は検出件数

## 3 水質検査

海水浴場水について、管内4ヶ所の海水浴場で開設前と開設中の年2回採水し、水質検査を実施した(表5)。

表5 水質検査 平成27年度(単位:件)

区 分	海水浴場水	
検 体 数	26	
検 査 項 目	pH	26
	COD	26
	糞便性大腸菌群数	26
	腸管出血性大腸菌O157	5

## 4 臨床検査

### (1) 梯川流域住民健康調査

心電図検査を1件実施した。

### (2) HIV抗体検査

免疫クロマトグラフィー法によるHIV迅速検査を142件実施した。